



シアターねこ 殿

松山市

■事績

約 300 名が収容できる小規模多目的ホールとして、芸術や芸能愛好家らに発表の場を提供してきた松山市中心部の「ラフォーレミュージアム」が 1996 年に閉館し、地元劇団などは稽古場や公演場所の確保に頭を悩ませることになりました。そこで長く松山で演劇活動が続けてきた鈴木美恵子代表が、2007 年に芸術文化の発展や活性化を目的とした NPO 法人「シアターネットワークえひめ」(TNE)を設立。さらに 2012 年に松山ロープウェー商店街の近くの旧和光幼稚園の建物を改修し「シアターねこ」をスタートさせました。

約 100 席のホールを持つシアターねこは、地元劇団の活動の場として定着。単なる貸しホールとしての場所提供にとどまらず、TNE とタッグを組みながら地元演劇愛好家向けの講座・ワークショップの開催など様々な自主企画事業にも取り組み、愛媛の舞台文化を長年支えてきました。2014 年 4 月から毎月発行されている「シアターねこしんぶん」は、演劇に携わる人々の紹介や愛媛県内で催された舞台の観劇ルポなどを情報発信。劇作家の平田オリザさんら著名な演劇関係者を招くなどし、地域の人材育成や俳優のレベルアップにも寄与しています。

新型コロナウイルス感染拡大で 2020 年・2021 年と多くの舞台・演劇がキャンセルとなり施設の収入は激減。「芸術発表の場を守りたい」と劇場のファンが出演者にボランティアでの参加を呼びかけ「チャリティシアター」を企画するなど、シアターねこは地域で愛される小劇場として今後も活動を続けます。